

KaracrixBuilderV3 システムマニュアル

6章 ポイント属性一時変更

(章別取扱説明書 v1.00)

株式会社 エスアイ創房

KaracrixBuilder

改定履歴

第 1.00 版 2008/12/1

おことわり

- (1) 本書内容の一部又は全部を、無断で他に転載することは禁止されています。
- (2) 本書内容は、将来予告無く変更する場合があります。

KARACRIX は株式会社エスアイ創房の登録商標です。

KaracrixBuilderV3 システムマニュアル 第 1.00 版 © S.I.Soubou Inc.

目次

6 章	ポイント属性一時変更.....	6-1
6.1	ポイント属性一時変更画面の表示.....	6-1
6.2	ポイント属性設定画面の表示.....	6-4

6章 ポイント属性一時変更

システム設定メニューのポイント登録画面で変更したポイントオブジェクトの属性設定¹の反映には、システムのリセットが必要になります。このリセットを行うことなく、システムの運用中にポイント属性の一時的な変更を行ないたい場合があります。これには、「ポイント属性一時変更」機能を使用します。但し、すべての属性を変更できる訳ではありません。システムの基本設定に係わるものに関しては変更できません。

1 「20章オブジェクト環境設定」を参照

6.1 ポイント属性一時変更画面の表示

「メインメニュー」画面から“ポイント属性”ボタンを押して下さい。「ポイント属性一時変更」画面が表示されます。



図 6.1.1 ポイント属性一時変更画面

「ポイント属性一時変更」画面の項目を以下に説明します。

ポイント種別選択ボタン

ポイント一覧画面に表示されるポイントの種別を選択します。

- 全(非圧縮)： すべての種別のポイントを表示します。
- DI： デジタル入力ポイントのみ選択し圧縮表示します。
- DO： デジタル出力ポイントのみ選択し圧縮表示します。
- PI： カウンタ入力ポイントのみ選択し圧縮表示します。
- AI： アナログ入力ポイントのみ選択し圧縮表示します。
- AO： アナログ出力ポイントのみ選択し圧縮表示します。
- IMG： イメージ入力ポイントのみ選択し圧縮表示します。

用途選択ボタン

ポイント属性一時変更を行う時に表示されるデータ設定項目のデフォルト項目を選択します。(複数選択可) 標準では、ボタンは未選択になっています。ここで、選択した項目がポイント属性設定画面にも引き継がれます。

- 代表： ポイント別に必要な代表属性項目を表示します。
- 警報： 警報設定に関する属性項目を表示します。
- その他： ポイント別に必要なその他の設定に関する項目を表示します。
- 汎用： 汎用的に使用できる設定に関する項目を表示します。汎用的とは、特に目的を設定しないでユーザが定義して使用できる項目です。

No

- 全(非圧縮)表示の時： システム登録した番号の順にポイント一覧が表示されます。
- 圧縮表示の時： 各ポイント種別毎の表示順です。

種別

ポイントのオブジェクトの種別を表示します。

- DI : デジタル入力(整数型)
- DO : デジタル出力(整数型)
- PI : カウンタ入力(整数型)
- AI : アナログ入力(実数型)
- AO : アナログ出力(実数型)
- IMG : イメージ入力

OBJID

ポイントをシステム内部で識別するためのオブジェクト ID 名を表示します。

タグ名 (識別記号名)

オブジェクト ID の別名、タグ名を表示します。

ポイント名

ポイントを識別するためのポイント名を表示します。

属性設定

ポイント別に属性設定を行います。

本項目をマウスで選択してクリックするとポイント属性設定画面が表示されます。

用途選択ボタンで選択した項目ボタンはポイント属性設定画面にも引き継がれます。

本設定欄に表示されている情報は、以下の通りです。

- DI : (状態文字) (警報文字)
- DO : (状態文字)
- PI : (積算カウンタ上限値) (カウンタ乗率)
- AI : (表示用スケール) (単位) (表示フォーマット)
- AO : (表示用スケール) (単位) (表示フォーマット)
- IMG : (入力チャンネル) (解像度) (クオリティ)

W3(WWW)

MB(MoBile)

Web ブラウザ(W3)、携帯端末(MB)からの参照及び設定を許可するかどうかの設定を行います。

本項目をマウスで選択してクリックすると設定ダイアログ画面が表示されます。

設定には、以下の3つがあります。



- : 非公開(Webまたは携帯からの参照及び設定はできません)
- * : 一般ユーザ、管理者ユーザからの参照及び設定を許可します
- S : 管理者ユーザからの参照及び設定を許可します

図 6.1.2 アクセス許可設定ダイアログ

6.2 ポイント属性設定画面の表示

6.2 ポイント属性設定画面の表示

「ポイント属性一時変更」画面で属性の変更を行なうポイントの行で“属性設定”にカーソルを合わせてクリックします。 下図に示すような「ポイント属性設定」画面が表示されます。



図 6.2.1 ポイント属性設定画面

ポイント属性設定画面の項目を以下に説明します。

用途選択ボタン

表示されるデータ設定項目を選択します。(複数選択可)

代表: ポイント別に必要な代表属性項目を表示します。

警報: 警報設定に関する属性項目を表示します。

その他: ポイント別に必要なその他の設定に関する項目を表示します。

汎用: 汎用的に使用できる設定に関する項目を表示します。汎用的とは、特に目的を設定しないでユーザが定義して使用できる項目です。

No

各属性項目の表示順です。

設定項目

属性の設定項目を表示します。

説明

属性項目についての説明を表示します。

設定

属性項目の現在値を表示します。設定値を変更する場合は、マウスで項目を選択しダイアログ画面でデータ入力します。

状態設定 + ファイル保存 (使い方に十分に注意してください)

属性項目の設定値をオブジェクトメモリに書き込むと同時に、ポイント属性初期化ファイルにも反映します。ファイルに反映されたデータはシステム再起動時にオブジェクトメモリに展開されて動作します。

状態設定

属性項目の設定値をオブジェクトメモリに書き込みます。システムを停止またはリセットすると設定内容は消去される揮発性のものです。

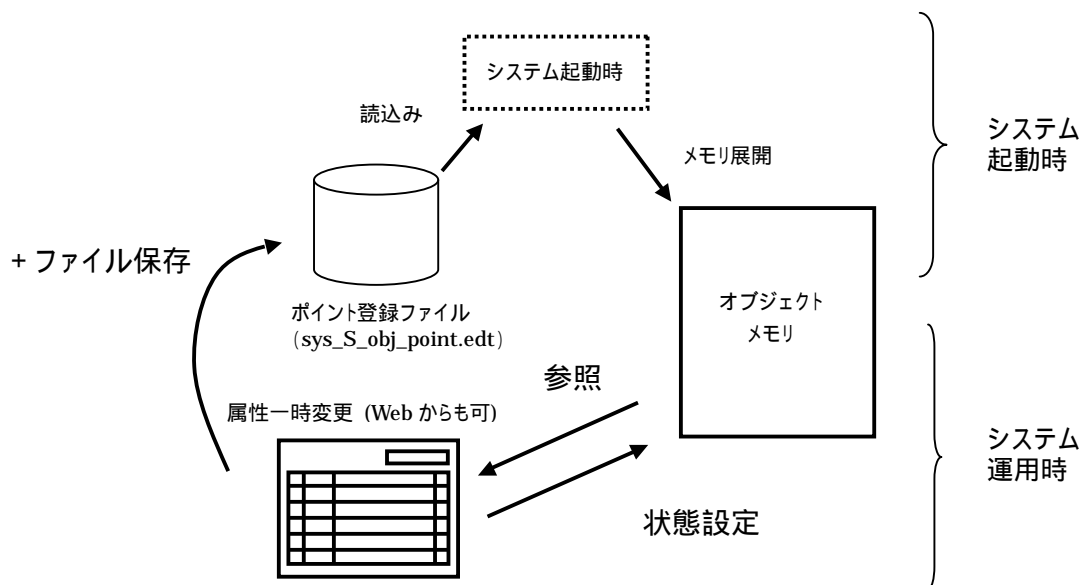


図 6.2.2 状態設定とファイル保存の関係

CAN(キャンセル)

属性項目の設定値の変更をキャンセルして“ポイント属性一時変更”画面に戻ります。

6.2 ポイント属性設定画面の表示
